

主な内容

- 2・3面
 - ・決算特別委員会
- 4～7面
 - ・一般質問
 - ・常任委員会審査報告
 - ・特別委員会中間報告
- 8面
 - ・議決結果一覧
 - ・陳情



▲駅舎の橋上化が行われた多磨駅

令和3年第3回定例会 令和2年度各会計の決算を認定 一般会計決算歳出総額1351億円

令和3年第3回市議会定例会は、8月30日から9月28日までの30日間の会期で開催されました。
市長提出議案は、令和2年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど22件を審議した結果、可決14件、認定5件、可決及び認定2件、同意1件となりました。議員提出議案は1件を審議した結果、可決となりました。また、陳情5件が審議されました。

令和2年度の決算は、一般会計歳入歳出予算総額139億9888万9000円に対し、歳入決算額は1388億9387万5000円、執行率は99・9%、歳出決算額は、1351億8263万9000円で、執行率は97・2%です。その結果、歳入歳出差引額は、37億1123万5000円となり、このうち2億6400万円については法の規定により公共施設整備基金に編入しています。

この議案の提案に当たり、市長から「歳出では、これまでの取組を更なるまちの活性化へつなげ、本市の次の飛躍を期する年とすべく、目指す都市像である『みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち』の実現に向け、『世界とつながる 平和と人権』『地域でつながる 安心と協働』『未来につながる 健康と活力』をテーマに、各施策を推進するとともに、行財政改革推進プランに基づく、持続可能な行財政運営に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による危機的な状況から、市民生活、市内経済を守るべく、計7回の補正予算を編成し、同感染症緊急対応方針に基づき、必要な対策を迅速に講じてきた。2年度の主な成果としては、風水害などの大規模災害に備えた備品や設備の整備、多磨駅周辺地区における駅舎橋上

化及び自由通路整備のほか、新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世帯に対する市独自の給付をはじめ、プレミアム付商品券の発行、PCR検査センターの運営支援、小・中学校へのタブレット端末の導入など、コロナ禍においても、市民が安全・安心に暮らせるよう様々な取組を行った」との説明がありました。9月16日から24日にかけて開催された決算特別委員会で、慎重な審査が行われ、9月28日の本会議において、賛成・反対討論を行い、採決の結果、賛成多数で令和2年度一般会計歳入歳出決算は認定されました。（関連記事2・3面）

は令和4年度においても、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められており、その財源確保のための地方税制の充実が強く望まれる。

よって、本市議会は国及び政府に対し、4年度地方税制改正に向け、5つの事項を確実に実現するよう、強く要望する。

意見書(要旨)

◎コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政

人事議案

定例会最終日の本会議に、市長から監査委員の選任の同意を求める議案が提出され、次の方が同意されました。

■監査委員

太田 進司 氏(62歳)

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

- <8月>
 - 30日 本会議(委員会付託等)
 - 31日 " (一般質問)
- <9月>
 - 1日 " (")
 - 2日 " (")
 - 公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会
 - 3日 総務委員会
 - 6日 文教委員会
 - 7日 厚生委員会
 - 8日 建設環境委員会
 - 9日 基地等跡地対策特別委員会
 - 10日 市庁舎建設特別委員会
 - 13日 学校施設老朽化対策特別委員会
 - 15日 本会議(常任委員会審査報告等)
 - 16日 予算・決算特別委員会
 - 17・21・22・24日 決算特別委員会
 - 28日 本会議(特別委員会審査報告等)